

みなとぶ

地域の魅力を地元から発信

Takanawa Community News Magazine

高輪地区情報紙

三田4・5丁目・高輪・白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課

編集：みなとぶ編集室

<https://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



2024年11月

Vol. 53



『高輪秋の景』歌川広重（東京都立図書館蔵）

月を眺める名所 高輪・品川

江戸時代、高輪から品川にかけて、月と海を眺める名所として、
浮世絵に多く描かれています。

特に、陰暦1月と7月の26日は、二十六夜待ちといい、
月光の中に弥陀・観音・勢至の三尊が現れると言い伝えられ、
大勢の人が月を拝む風習がありました。
遅い月の出を待って拝む慣わしで、海岸や高台に人々が集まりました。

（文/安藤）

『江戸自慢三十六興 高輪二十六夜』歌川豊国 歌川広重（東京誌料）



CONTENTS

P2 この街にこの人あり
國分晃さん（国分グループ本社株式会社 社長）

P3 街が変わる 古川地下調節池

P4/5 地域のあしあと
幕末から明治にかけて活躍した偉人たちの住まい

P6 商店街紹介
古き良き街並みが残る「白金北里通り商店会」

P7 白金に誕生したコンサートホール「白金音楽堂」
みんなで、楽しく「ティーンズ食堂」

P8 区からのお知らせ／クロスワードパズル

この街にこの人あり

こくぶ あきら
國分 晃さん

(国分グループ本社株式会社 社長)

プロフィール

昭和46(1971)年生まれ。

平成6(1994)年に慶應義塾大学法学部法律学科を卒業後、ネスレ日本株式会社に入社。その後、平成10(1998)年に米国ノースウエスタン大学経営大学院、ケロッグスクール経営学修士号を取得。同年、国分株式会社に入社し、平成16(2004)年に取締役に就任。平成29(2017)年より、国分グループ本社株式会社の代表取締役社長執行役員経営統括本部長兼COO。



「300年以上続く会社をしっかりと継承していきます」

300年以上前に創業した国分グループ本社株式会社(日本橋1-1-1)へおうかがいして、國分晃社長にお話をお聞きました。

●御社についておうかがいします

—300年以上前に、最初は、醤油の醸造・販売から始められたのですね

もともとは、伊勢・松阪(現在の三重県松阪市)で商売をしていましたが、正徳2(1712)年、4代目國分勘兵衛が江戸に出て、常陸の国新治郡(現在の茨城県土浦)で醤油の醸造を行い、日本橋のほぼ現在の場所で販売を始めました。その後、明治維新の時に醤油の醸造をやめ、広く食の卸売業を始めました。大正12(1923)年、関東大震災で店舗を消失しましたが、復興に向けて、清涼飲料水や醤油の供給に尽力しました。

昭和22(1947)年、現・国分グループ本社株式会社の基となる國分漬物株式会社を設立し、さらに社名を株式会社國分商店、国分株式会社と変更、平成28(2016)年、国分株式会社をエリアごとに分社しました。グループを統括するのが、国分グループ本社株式会社となります。

—国分グループは何社位ですか？

グループ会社はおよそ50社です。国内の卸売事業を7つのエリアに分けて、独立採算のエリアカンパニーとしています。

業種が食品卸売業なので、すべてのカテゴリ商品を取り扱っています。またメーカー部門では、K&Kブランドの缶詰やtabeteブランドのだし麺、クリエイトブランドのヨーグルトなどのほか、

お菓子、パン粉、総菜、輸入洋酒など、さまざまな自社ブランド商品を取り扱っています。海外にも、中国、ベトナム、マレーシア、シンガポールなどに関連会社があり、事業を展開しています。

これらの会社を統括していくのは大変ですが、非上場の会社なので、長期的な視点に立ち、私たちが思い描いた戦略を、しっかりと推進できることはありがたいです。

—経営理念を教えてください

社是は「信用」、企業理念は「継続する心、革新する力～300年間紡いだ商いを次世代に繋げていく。私たちは食を通じて世界の人々の幸せと笑顔を創造します～」です。

—最近の業績はいかがですか？

グループ全体の令和5(2023)年度売上高は2兆円を超え、経常利益額は242億円となりました。アフターコロナで人流が戻り、経済が回り始めたおかげです。

—今後の会社の方針を教えてください

5年毎に長期経営計画を策定し、4つの目標を掲げています。

- ①顧客満足度No.1を目指す
- ②食品流通における「共創圏」の構築と拡大
- ③モノ売りとコト売り(機能、サービス)2輪ビジネスへ
- ④従業員の仕事における幸福度の向上

●國分晃さん個人についておうかがいします

—青春時代の思い出は何ですか？

慶應義塾大学スキー部に所属し、日吉の合宿所で過ごされましたが、よい仲間にも恵まれ楽しい学生生活を過ごしました。

卒業後、神戸のネスレ日本株式会社に就職しました。しばらくして阪神淡路大震災に遭い、東京に転勤になりました。

その後、米国ノースウエスタン大学大学院に留学し、経営学を学びました。いろいろな国の学生と

一緒に共同研究を行い、世界の人々の考え方の違いに驚きながらも、大変勉強になりました。寝る間もないほど忙しかったですが、今思えば、自由で最高の2年間でした。

—代々、事業を継承していくことについて、どのように意識されましたか

私が、家とビジネスとが表裏一体であることを感じたのは、大学2年、20才の時の祖父の葬儀でした。

従業員やお取引先など、多くの人が参列しているのを目の当たりにして「自分の祖父が、というよりビジネスの中心にいた人間が亡くなったのだ」と思いました。そして父がその後を継ぐ。その次は自分、家とビジネスは一体なのだと肌で感じました。

—晃さんもいずれ「國分勘兵衛」の名前を継ぐことになるのですね

父は現在、国分グループ本社株式会社、代表取締役会長で「第12代國分勘兵衛」の名前を継承しております。

歌舞伎役者の襲名とはちがって、戸籍を変えることになります。本籍地は三重県にあるので、そこまで行き、いろいろ手続きをしなければなりません。

—國分家は広いお屋敷になっていますが、何年前から高輪にお住まいですか？

國分家が高輪の今の場所に住んだのは、大正12(1923)年の関東大震災の後で、およそ100年前です。私は一時期、近くのマンションに住んでいましたが、今は敷地内の二世帯住宅で、父の家族と一緒に住んでいます。

—高輪地区についての印象は？

高輪は大好きです。毎日の通勤や地方、海外の出張に行く時もとても便利です。みどりが多くあり、自然環境にも恵まれています。環境がよいので、よく犬と近道を散歩します。お祭など町会や神社の行事が活発なのもよい点です。一方、高輪ゲートウェイの開発で、近くに高いビルが多くでき、今までの良さが失われないようにしなければいけませんね。

取材を終えて

お忙しい中、われわれの質問に詳しくていねいにお答えいただき、感謝いたします。國分晃社長の今後一層のご活躍を期待します。



江戸時代の日本橋の様子。蔵には創業時の屋号「大国屋」の亀甲大の印が見える

街が変わる

東京都の古川地下調節池
白金地域などを水害から守る巨大水槽

古川地下調節池



調節池トンネル内の様子

都市災害として警戒されてきた地震と火災に加え、近年は水害に備える必要性も高まってきました。白金地域でも古川の洪水被害が発生したこともあり、地下に巨大な水槽が建設されています。それが、東京都が建設した「古川地下調節池」です。

白金5丁目にある施設の管理棟を訪ね、管理にあたっている東京都第一建設事務所工事課の楯課長をはじめ、職員の方々に施設の概要と機能についてうかがいました。

● 高まる都心の水害対策の必要性

都内にはいくつかの河川があり、過去に水害が多かったのが神田川流域（神田川、善福寺川、妙正寺川など）です。古川でも水害があったことから、平成20（2008）年に古川地下調節池の整備事業が決定し、平成30（2018）年に運用を開始しました。

施設の原理は簡単で、豪雨などによって川の

水位が一定以上になった場合、護岸に設けられた取水口から水を取り入れ、地下40mに建設された巨大な円筒状の空間（トンネル）に水を貯めるというものです。雨が収まり川の水位が低下したのちに、貯まった水を排水口のポンプでくみ上げて、川に排水します。

● 用地難に対応しすべて地下に蓄える

調節池のトンネルは、延長3.3km、内径7.5mと巨大です。このトンネルで貯めることのできる水量は13.5万㎡、1時間当たり50mmの降雨にも対応できるように計画されました。洪水時に取水した水は40mの地下に落ちて貯留し、雨が収まり川の水位が低下したのちに、麻布十番の位置に設けられたポンプで下流に排水されることになります。

郊外の河川では、地上部を掘削する掘り込み式の調節池を整備する場合がありますが、都心のように空地が極めて少ないケースでは、地形的条件から地下に整備します。このために総工

費も約270億円（地上の用地取得費用も含む）を要したそうです。

● 監視も重要な作業

豪雨時の運用にも細心の注意が払われています。水位が一定値を超えた場合は調節池に流入しますが、その状況を、中央区明石町にある第一建設事務所および都庁のモニターで監視しています。また、古川地下調節池にもモニターの監視施設があり、正常に機能しているか常時確認しています。

歴史的に、古川は何度か水害に見舞われており、平成11（1999）年には、浸水面積15.6ha、浸水家屋627棟の被害が出ました。調節池の完成後、今年7月の豪雨で初めて施設を稼働、その翌月の8月に調節池の容量のうち約30%を取水し、河川の水位を低下させる効果を発揮しました。

近年、さらに局地的な集中豪雨が増しており、古川地下調節池の存在は治水対策として地域の安全に寄与しているといえるでしょう。

古川

古川は、起点がJR山手線渋谷駅前というまさに都市河川です。渋谷区内の2.4kmが「渋谷川」、天現寺橋から下流の港区内になると「古川」と名称が変わります。古川としては4.4kmの長さで、かつては、水運を利用した地域の産業発展に貢献したそうです。また、特徴の一つとして、ほとんどの区間が川の上空に首都高速道路が建設されていることが挙げられます。このため、調節池のある部分は川の上下にコンクリート構造物があるという珍しいケースになります。なお、調節池を管理している第一建設事務所の職員によりますと、川には小さな魚のほか、ウナギも見受けられるということでした。



取水施設外観

地域のあしあと

幕末から明治にかけて活躍した偉人たちの住まい

大久保利通、後藤象二郎、岩崎弥之助、岩崎小弥太、渋沢喜作など幕末から明治にかけて活躍した偉人たちは、高輪の台地に居を構えていました。その理由として、大名下屋敷が多かったこと、東海道の近い位置にあったこと、台地から東京湾を見渡せたことがあげられます。

みなとぶ53号、54号の2回に分けて、偉人たちの邸宅を取り上げます。今回は後藤象二郎邸と三菱財閥の岩崎弥之助・小弥太郎であった開東閣についてご紹介します。

◆後藤象二郎邸

後藤象二郎の邸宅は、高輪に4万坪の敷地をもつ大邸宅でした。もとは薩摩藩の下屋敷をはじめとする大名屋敷と旗本邸を合わせた土地で、島津家より譲渡されたものです。東京湾が見下ろせる高台からは、美しい朝日が昇るのが見えたとのこと。

広大な敷地には、梅林、竹林、松林、滝や池のほか、牛を飼育する牧場もありました。象二郎は敷地の手入れに力を注ぎ、3年間毎日、100人の人々が整備していました。梅林にいたっては7回も位置を変えたほどです。象二郎はまた、地震で揺れるのをきらい、洋館の下にコンクリートを厚く敷きました。

この敷地は明治31(1898)年、明治政府が買い上げ、高輪南町御用邸や、白川宮邸、竹田宮邸となります。現在は、グランドプリンスホテル高輪や高輪森の公園などになっています。



右の洋館には着物姿の女性が写っている。左奥は和風建築の建物
出典:『伯爵後藤象二郎』

◆明治天皇の行幸

この後藤象二郎の邸宅を、明治天皇が訪れたことがあります。明治25(1892)年7月4日のことです。そのときの模様を、官撰の史書である『明治天皇紀』と大町桂月著『伯爵後藤象二郎』が紹介しています。

それによると、後藤邸を訪れた明治天皇は、銀杯、七宝焼きの花瓶、金子などを下賜され、次いで象二郎により、銘刀、朝鮮伝来の茶壺、そして陶製の狸の置物が献じられたとあります。『伯爵後藤象二郎』によると、狸の置物は献上品に予定していなかったものの、狸を気に入った明治天皇の「これを持ち帰るぞ」とのお言葉を大変光栄に感じた象二郎が献じたとのこと。行幸当日、後藤邸では、明治天皇はじめ一行が場内を散策し、丘の上から品川の海を眺めたのち、能楽、講談、薩摩琵琶などが天覧のもと催されたそうです。



明治天皇が行幸の際、海を眺めた東屋
出典:『港区と皇室の近代』
宮内庁宮内公文書館所蔵



後藤象二郎略歴

天保9(1838)年～明治30(1897)年

高知藩士。政治家。山内豊信に登用され、藩政の実権を握りました。坂本龍馬の公議政体論に賛同し、徳川慶喜に大政奉還を説きました。維新後は新政府内で要職につきますが、明治6(1873)年、征韓論問題で参議を辞任。板垣退助らと民撰議院設立建白書を提出。自由党の結成に加わり、明治20(1887)年に大同団結運動を展開。明治22(1889)年、黒田内閣の通信相となりました。その後、第一次山県、第一次松方各内閣に留任。第二次伊藤内閣では農商務相に就任しました。岩崎弥太郎とは、同郷で何度も行動を共にしたことがあります。また、後藤象二郎の娘(早苗)と弥太郎の弟(弥之助)は結婚しています。



出典:『近代日本人の肖像』
国立国会図書館

◆岩崎家高輪別邸と開東閣の歴史

開東閣は三菱財閥の創業家である岩崎家の高輪別邸の元洋館で、高輪4丁目と北品川にまたがるハッ山にあります。現在は三菱グループ24社の迎賓施設として利用され一般には非公開となっていますが、維持・管理会社の三菱地所株式会社開東閣総支配人北川純さんにお話をうかがうとともに、館内や庭園をくまなくご案内いただきました。



北川純さん

高輪別邸の完成

2代目当主岩崎弥之助は、明治22(1889)年、この地に伊藤博文が所有していた更地16,500坪を10万円で購入し、駿河台本邸の別邸地としました。弥之助は邸宅建築や造園が第一の趣味で、明治34(1901)年から38(1905)年にかけて、丸の内にあった備前藩池田家上屋敷跡の正門だった日本門や本邸の和館・釈迦堂を移築してこの別邸に移り住みました。4年後の明治41(1908)年8月、高輪別邸はジョサイア・コンドルの設計により、周囲に洋風庭園を配した荘重な洋館としてようやく完成しましたが、残念なことに、弥之助は同年3月、この完成を見ることなく他界しています。

開東閣の命名

弥之助の死後別邸は、4代目当主で弥之助の長男小弥太夫妻が数年間住まいとした後、賓客接待や三菱社内親睦に利用され、昭和13(1938)年に土地・建物が三菱社に譲渡され、この時「開東閣」と命名されました。名前は、中国前漢時代の漢書「公孫弘伝」にある「客館を起こし東閣を開き以て賢人を延く^{*}」に由来しています。

※訳：晩学して丞相となった漢の公孫弘が公邸に客館を建て、東閣(東の門)を開き、賢人を招いて意見を求めた。

別邸の焼失と戦後の再建

昭和20(1945)年5月の空襲で、石造りの外壁一部を残して内部はほとんどが焼失。昭和19年に国宝指定された日本門や和館、釈迦堂も焼失しました。同年12月、小弥太もまた、それが運命だったかのように、一つの時代の終わりとともにこの世を去りました。

戦後約10年間のGHQによる接収および解除ののち、三菱系各社の協

岩崎弥之助の生涯

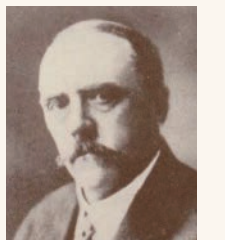
明治18(1885)年、初代当主岩崎弥太郎の死去後、2代目を継いだ弥之助は、兄が築いた「三菱海上王国」に代わって「陸の三菱社」を設立し、銅山・炭鉱・造船・銀行・地所・農場などの多角的経営を展開。明治20年代に政府から丸の内一帯81,000坪と三崎町23,700坪を128万円(当時でも相当な高値)で購入し、一大ビジネスセンター化を思い描くなど、幅広い視野と大胆な経営を行い、現在の三菱グループの基礎を築きました。明治26(1893)年、兄の長男の久弥に3代目当主の座を譲った後は、若い社長を後見しつつ政財界でも活躍、明治29(1896)年には第4代日銀総裁に就任しました。なお夫人は後藤象二郎の娘で、兄が後藤に頼み込んだとのこと。



出典:『近代日本人の肖像』
国立国会図書館

ジョサイア・コンドルの足跡

明治政府のお雇い外国人としてイギリスより招かれた建築技術者・建築教育者。鹿鳴館を設計し、日本人建築家の育成に務めました。明治23(1890)年、三菱社の顧問となり、丸の内オフィス街化を計画して三菱一号館から三号館を手がけ、一帯は「一丁ロンドン」と呼ばれました。高輪別邸(開東閣)のほか、弥之助の駿河台本邸、久弥邸(台東区池之端に現存)なども手がけています。港区内では住宅建築を多く手がけていますが、震災や空襲、戦後の開発で失われ、現存する建物は、開東閣と三田2丁目にある「網町三井倶楽部(三井系の迎賓施設)」など。大正9(1920)年に麻布三河台町にあった自宅で亡くなるまで、20年以上を港区で過ごしました。



出典:『本の万華鏡』
国立国会図書館を加工して作成

力を得て復旧工事を行い、昭和39(1964)年9月に、外観の原形は残しつつ今日の開東閣が完成。その後内部改装や免震工事を経て現在に至っています。



現在の開東閣の外観



庭園側から見た開東閣



開東閣の外構



手入れの行き届いた庭園

◆開東閣を見学して

復旧工事にあたっては、詳細な図面は残されていなかったため、間取図や当時の写真などを参考に再現が行われ、当初の洋館の素晴らしさを彷彿とさせる重厚な建物や豪華な内装が復元されています。また本館南側の「松柏壇(洋風庭園)」や東側の「広芝」の緑の絨毯、バラ園、藤棚、桜の古木、日本庭園など、手入れが行き届いた素晴らしい景観が広がっています。今はうっそうとした樹々に囲まれています、建設当初は東京湾が一望できたそうです。今回の取材は、参加者一同にとって大変貴重な体験となりました。

(注)一般公開はされていないので、この記事を見て問い合わせをされても見学などの対応はしていただけません。

みんなおいでよ！

商店街紹介

古き良き街並みが残る「白金北里通り商店会」

白金北里通り沿いの、北里大学病院付近から恵比寿3丁目の交差点近くまでに位置する「白金北里通り商店会」。都心の真ん中にあるとは思えない、温かく懐かしい雰囲気を味わえる昔からのお店が軒を連ねています。

商店会の魅力について、会長の佐藤さんにお話をうかがいました。

佐藤伸弘さん

平成25(2013)年より商店会の会長。大正15年から続く「合資会社 佐藤栄次郎商店」店主。電動工具・建築金物・家庭金物の販売のほか、カギの取付・交換なども行う。



●白金北里通り商店会の歴史

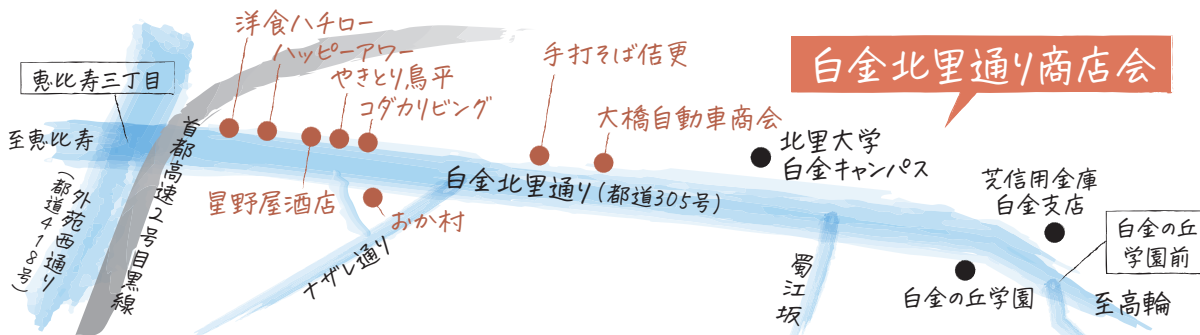
白金北里通り商店会は、「三光豊沢商店会」として古くから地域に根づいていました。東京大空襲の戦火を免れた築100年を超える建物が今なお残っており、それらを改造して開業している店が多数あります。

●白金阿波踊り(毎年7月)

平成29(2017)年から、阿波踊りの本場・徳島県阿南市との交流を深めています。始めたばかりの頃は小規模なイベントでしたが、現在は地域全体&阿南市との助け合いのもと、大変盛り上がるイベントとなっています。

●安心、安全な街づくり

商店会には、商店のほか、学校や病院などもあり、多くの人が行き交います。道幅の狭い都道沿いに面しており、バス通りにもなっているこ



とから、交通量も多くなっています。

そのため、商店会では、地域の防犯や事故防止を目的とし、街路灯や防犯カメラの設置に積極的に取り組み、加盟している店舗や地域の人々が安心、安全に過ごせるように努めています。

●北里大学病院と連携した「体にいいまちづくり」

商店会には北里大学病院も加盟しています。そんなつながりもあって「体にいいまちづくり」も積極的に推進。病院、商店会、港区、地域住民が一体となって、「予防医学デー・フェスティバ

ル」を開催したこともあります。

健康的な体づくりにおすすめの低糖質メニューを食べられるお店もあります。

●取材を終えて

「港区から渋谷区へ続いているめずらしい商店会で、双方のお客さまが足を運ぶ商店会でありたいですね」と、佐藤さん。

どこか安らぎすら感じさせてくれる白金北里通り商店会に、ぜひ足を運んでみてください。

白金北里通り商店会のレトロなお店を紹介！！

ちょっと気になる



●洋食ハチロー(中央)とハッピーアワー(右端)

100年以上前の長屋を改造した建物。洋食ハチローは創業70年。昔ながらの雰囲気あふれる人気のお店。ハッピーアワーは令和2(2020)年3月にオープンした新しいお店。サラダをメインにしたカフェ、オニオングラタンスープも人気。



●星野屋酒店(右端)

昭和3(1928)年に建築された約100年前の建物。明治42(1909)年創業(白金のもう少し離れた場所)。おいしいお酒を試飲販売しお店の奥で「ちょい呑みや星野屋」も営業。左側は大正12(1923)年の建物で、現在は使用されていない。

●おか村(右端)

85年前の建物。レトロな外観とはうらはらに、店内は素敵で落ち着いた雰囲気の日本料理店。店主は、銀座で10年日本料理店をしており、1年前からこの場所でオープン。



●手打そば 佗更

約100年前の建物を約60年前に改築、改造。お店は約15年前から営業(今の店主になってからは約2年)。



●コダカリビング(右端)とやきとり鳥平(左端)

約100年前の建物。寝具などの販売を行うコダカリビングは、小高さんのお父さまが六本木から移転して、昭和3(1928)年、結婚と同時にこの場所で会社を始めた。やきとり鳥平は創業50年以上のもつ焼屋。



●大橋自動車商会

100年以上前の建物(関東大震災にもちこたえたそう)。創業76年、各種自動車・2輪車販売、車検、修理などを行う。大橋さんのお父さまが、戦後、長屋だったこの場所を購入・改造し、会社を始めた。



おか村の入口は建物の裏手にある



白金に誕生したコンサートホール 白金音楽堂 (客席数66席)

令和5(2023)年
8月オープン



白金の閑静な住宅街で、クラシックを堪能できる音楽ホールを訪ね、オーナーの望月義也さん(白金耳鼻咽喉科望月医院院長)にお話をうかがいました。

●低料金で利用できる演奏会場を

音楽家の「演奏する場所がない、民間はあっても高く、公立のホールは予約がとりにくい」という状況をなんとかしたかったのです。後援組織がなくても演奏者に利益が出る場をと、医院の建て直しの機会に音楽堂をつくりました。主催する演奏家が無理なく企画ができるような低料金を設定しました。運営のために必要なことはなるべく私自身が行うことで、経費を削減し低料金を実現しています。

おかげさまで、毎月コンサートの予約が入っており、地域のピアノ教室の発表会などにもご利用いただいております。



望月義也さん

●音楽への想い

私は、クラシック全般、ジャズが好きです。芝中学校・高等学校吹奏楽部でフルートを演奏し、今もときどき楽しんでいます。

耳鼻咽喉科なので、皆さんの音や声を聴く手助けをしたいという想いも強く、もともと好きだった音楽に学問的な興味も加わりました。

●設置のピアノ「SHIGERU KAWAI」について

長年懇意にしている声楽家の井上雅人様、ピアニストの小瀧俊治様、八木大輔様、そしてカワイ表参道様のご協力により、日本が誇る素晴らしいピアノ「シゲルカワイ」を設置することができました。定期的なメンテナンスもカワイ様が行っています。

●ホールについて

音の響きにこだわったのはもちろんですが、それ以上にご近所迷惑にならないよう防音に気を配りました。金管楽器でもほとんど音は漏れないです。CD録音のためにご利用いただいたプロの演奏家の方もいらっしゃいます。施設安全基準はすべてクリアし「劇場」として認可

されていますので、演奏家もお客さまも安心してご利用できます。

お話をうかがって

良質で素敵なコンサートホールがこの地域にできたのはとてもありがたいことです。今後、多くの方に使用され、愛される会場になりますようにと願っております。



港区白金3-10-16 白金望月ビル2階
(白金高輪駅から徒歩6分)

(担当/池井戸、川野、飯島、村田、阿部)



みんなで、楽しく「ティーンズ食堂」

『ドン・キホーテ』の作者、セルバンテスは、「パンさえあれば、大抵の悲しみは乗り越えられる」と言いました。

何はさておき食事が大事。今日は、「**楽しくご飯を食べましょう**」がモットーの高輪子ども中高生プラザの「ティーンズ食堂」をご紹介します。

「ティーンズ食堂」は、月2回、中高生向けに開かれ、20人分くらいの食事が用意されています。プラザで元気いっぱい時間を過ごした中高生たちの空腹に答えようと、8年前の4月に始まりました。誰でも参加OKの開かれた時間です。

お話をうかがった、副館長の清野健一さんは「気軽に参加いただいて彼らの友情を育み、また地域の皆さんと絆を創りたい」と抱負を述べられ、この日の炊事当番、吉川遥さんには、「普



カレーを配る吉川さん

段、大人数分の調理をすることはないので、そこに気を遣います」と教えていただきました。

開始時間の夜の18時半になると、それまで館内で各々好きな時間を過ごしていた中高生たちが、お腹を空かせて集まってきます。この日のメニューは魚介エキスタっぷりのシーフードカレー。さすが食欲旺盛世代、すぐに2~3人のおかわりの列ができます。カメラを向けると笑顔でポーズをとってくれました。食後は各自で食器洗いと片付けをします。

見守る清野さん、吉川さんたちスタッフの優しいまなざしの中に、「大変なことがあっても、楽しい食事で元気を出して」というメッセージを感じとりました。一方で、「支援ボランティアの方がいらっしやれば……」という清野さんの言葉に、この活動の輪が広がって、調理などに



地域の皆さんのご支援をいただけたら、どんなに心強いのだと思います。

ここで過ごした時間が中高生たちの心に刻まれて、優しさが浸み込んでくれるといいな。いえ、必ずそうなることでしょう。

帰路に就くとき外は大雨、雷も近く大荒れでしたが、心は晴れやかでした。

楽しく、おいしく!



思わず笑顔!

Information
高輪子ども中高生プラザ
港区高輪1-4-35



(担当/三富、村田、清水)

区からのお知らせ



高輪地区総合支所の公式X (旧ツイッター)では、地域のできごとをはじめとした様々な情報を発信中。ぜひフォローをよろしくお願いします! @minato_takanawa



高輪地区でオンデマンドモビリティ（乗合交通）「みなりの」の実証運行中です

令和6（2024）年11月から令和7（2025）年9月まで、高輪地区において民間事業者によるオンデマンドモビリティ「みなりの」の実証運行を実施しています。

これは令和7（2025）年3月に開業する「TAKANAWA GATEWAY CITY」の開業を見据え、交通不便地域の解消や地域の利便性向上を目的とした取組で、運行時間は毎日午前8時から午後8時までです。

「みなりの」のご予約や、運行エリア、利用方法などのサービス詳細については、「みなりの」ホームページでご確認ください。

●お問合せ先

「みなりの」カスタマーサポート ☎050-2018-0107（午前9時～午後7時）
※オペレーターに「みなりの」もしくは「東京都港区」とエリア名をお伝えください。

街づくり支援部 地域交通課 地域交通係 ☎03-3578-2278（平日午前8時30分～午後5時）



車両イメージ

「みなりの」
ホームページ



都税のお知らせ

都税がスマートフォン決済アプリで納付できます

都税の納付にスマートフォン決済アプリをぜひご利用ください。アプリ内で納付書のバーコードを読み取るだけで、いつでも、どこでも、簡単に納付できます。詳しくは、東京都主税局ホームページをご確認ください。

https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/common/tozei_nouzei.html#L16



主税局ホームページ

不動産登記申請時には課税明細書がご利用いただけます

不動産登記の申請を行う際には、登録免許税の算定のため、固定資産の価格を記載する必要があります。その価格は、「固定資産税・都市計画税 納税通知書」と一緒（6月）にお送りする、課税明細書でご確認いただけますので、有料の評価証明は原則不要です。詳しくは東京都主税局ホームページをご確認ください。

https://www.tax.metro.tokyo.lg.jp/shitsumon/tozei/index_o.html#o31



主税局ホームページ

コミュニティ・カフェ高輪

高輪地区CCクラブ、高輪地区総合支所協働推進課、高輪区民センター、そして地域の方が協働で運営する、地域の方が自由に参加できるカフェです。

高輪区民センター2階展示ギャラリー前では毎月第2・4金曜日13:30～15:30頃（8月と12月の第4金曜日はなし）で、ゆかしの杜の6階白金台区民協働スペースでは毎月第3金曜日13:30～15:30頃（8月はなし）に開催しています。

「HUG高輪カフェ」では毎月第3火曜日（8月はなし）に、ミニ講演会（14:00～）もしくはカフェ（13:30～15:30頃）を開催しています。

1月は1月21日（火）に高輪区民センター集会所で歌の会を予定しています。詳細は港区設掲示板、高輪地区デジタルサイネージ、いきいきプラザなどのチラシでご案内します。



写真は高輪区民センター1階集会所での「歌の会&カフェ」の様子です（2024.01.16）

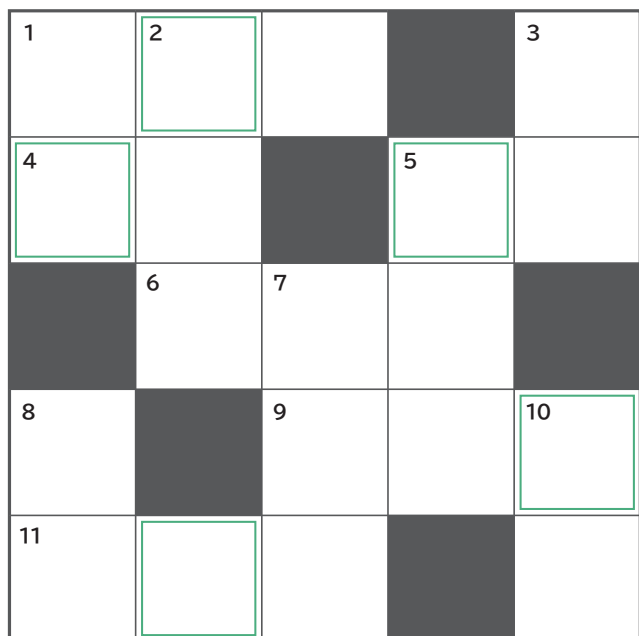
●お問合せ先

高輪地区総合支所 協働推進課 地区政策担当
☎03-5421-7123

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。

区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085



クロスワードパズル 高輪縦横無尽

タテのカギ

- 1 獅子は我が子を千尋の○に落とす。
- 2 秋の七草の一つ。別名は尾花。
- 3 大久保利通は版籍奉還や廃藩置○を推進し、新政府の基礎を固めた。
- 5 たやすいこと。気楽であること。いいかげんなこと。
- 7 鯛の尾より鰯の○。
- 8 歌川○重は、江戸時代の浮世絵師。本名は安藤重右衛門。
- 10 目下の相手に対する、あわれみ、憐憫、慈しみの気持ち。

ヨコのカギ

- 1 箱根駅伝で前走者と次走者の間で手渡すもの。
- 4 顔料を含まない透明な塗料。木材などの材料の表面を保護するために使用される。
- 5 地下に設けた水路。○渠。
- 6 事業を遂行する上で必要な決裁を得るために決定すべき内容や理由などを文書の形式にまとめ上げ、作成すること。
- 9 二者または複数の者が互いに向かい合って直面する状態。
- 11 ヴィクトリアン・サルドウの戯曲に基づくジャコモ・プッチーニのオペラ『トスカ』の舞台。

□の文字を並べ替えると、ひとつの言葉が出てきます

答えはこのページの一番下

区民編集
メンバー考案!

（担当/飯島）

各支所で、地域情報紙（情報誌）を定期的に発行しています

- 芝地区総合支所「しばタグ」
- 麻布地区総合支所「ザ・AZABU」
- 赤坂地区総合支所「MYタウン赤坂・青山」

- 高輪地区総合支所「みなとっぶ」
- 芝浦港南地区総合支所「べいあつぷ」

支所内各戸配布のほか、港区立図書館（高輪図書館分室を除く）・各いきいきプラザで閲覧することができます

本紙のバックナンバーは港区ホームページ（高輪地区総合支所のページ）からもご覧になれます。

みなとっぶ バックナンバー



編集だより

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

区民編集メンバー ※50音順

安藤 洋一（チーフ） 小林 由夏
大友 登喜雄（サブチーフ） 佐々木 智秋
天野 郁美 清水 徹夫
阿部 泰 田中 康造
飯島 真弓 野中 麻美
池井戸 晴美 平尾 恭一
大庭 澄子 三富 和則
岡田 薫 村田 志織里
川野 まりえ 米山 ノリコ

MINATO CITY



買い物
するなら
地元の
商店街で

▶今回、いろいろ取材し、高輪地区の持つ歴史の深さを知ることができました。地域の歴史を知るのは、興味深いです。取材先や編集スタッフ、協働推進課に感謝！（安藤）

▶非公開の「開東閣」をご案内いただき、改めて歴史の重みや歴史的価値を継承することの大事さを実感できる良い機会となりました。（大友）

▶川には歴史や物語があります。中国の黄河ほどのスケールはありませんが白金の古川にもありました。（阿部）

▶取材を通して、高輪地区の昔と今の両面に触れました。これから先も変化は続くのだと思うと目の前の景色が鮮やかに感じられます。（飯島）

▶暑い中、たくさんの方が取材にこころよく応じてくださり、貴重なお話をうかがえました。ありがとうございます。（池井戸）

▶高層ビルが立ち並ぶ今の港区。その光景を見たら、明治の偉人たちは何を思うのでしょうか。そんなことに想いを馳せた開東閣の取材でした。（岡田）

▶白金北里通り、とても古い建物を、上手に改造して使用されているお店がいく

つもあり、店主さんのお話を聞く度に、驚きと感動でした。いつまでも維持されることを願います。（川野）

▶久々の取材同行。古川地下調節池は目立たないのですが、地域の治水安全を守ってくれている重要な施設と初めて知りました。（小林）

▶ティーンズ食堂で子どもたちを支える中高生プラザの職員の方々はとても思いやりに満ち、地域の素晴らしさの一面を感じました。（清水）

▶維新の偉人たちが歩いたであろう柵堰坂から二本榎通りへ行くと、眼下に江戸湾の青い海が浮かんできました。（田中）

▶今回は古川地下調節池と開東閣の取材に同行しました。住民を守るために頑張ってくれている方々や文化を守っておられる方のお話には大変感銘を受け、有意義でした。（平尾）

▶「楽しく食事ができること。よく笑うこと」が最高の幸せだと思います。（三富）

▶地域に寄り添う活動について熱い想いをお聞きすることができました。記事や写真を通して読者の皆さまにも伝わると嬉しいです。（村田）